
PRESS RELEASE

ロンドン、2019年9月6日

旺盛な投資需要を受け、2019年の世界プラチナ市場の余剰は縮小

- 第1四半期の記録的な成長に続き、プラチナETFは第2四半期もさらに成長
- 南アフリカの鉱山供給は、一時的なパイプライン在庫の放出により、前年比1%増加
 - 投資需要の拡大を背景に、年間余剰は市場均衡に向けて縮小

ロンドン、2019年9月6日: World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスル、WPIC) は本日、2019年第2四半期の *Platinum Quarterly* と、2019年通年予想および2018年実績の両方の修正を発表しました。

本日発表されたレポートでは、旺盛な投資需要により、予想される自動車および宝飾品セグメントの需要の減退（それぞれ4%、5%）が相殺され、2019年のプラチナ総需要が9%と大幅に増加することが予想されています。2019年上期の投資需要は、ETFが72万oz急増したため、過去最高の85.5万ozとなりました。

2019年のプラチナの総供給は4%増加すると予想されていますが、成長のほとんどは2018年に南アフリカの処理パイプラインに蓄積した鉱石を精製したものです。2019年下期の停電およびストライキの可能性は、引き続き南アフリカにおける鉱山供給が減少するリスクを示しています。

需要は供給を上回って伸びると予想されており、2019年の市場の需給は、従来予想の37.5万ozの余剰から34.5万ozの余剰へと縮小します。

2019年第2四半期は蓄積したパイプライン在庫の一部の精製および自動車触媒のリサイクルの増加により、22万ozの余剰が生じています。第1四半期に59万ozという記録的な不足であったため、上期の不足は37万ozとなりました。

2019年第2四半期の自動車需要は前年比で5万oz減少しましたが、減少率は引き続き低下しています。これは、新型のディーゼル車が排出する窒素酸化物やCO₂は極めて低水準であるとの独立した証左が出てきたためです。ディーゼル車は、自動車メーカーが多額の罰金を回避するために必要なEU CO₂フリート排気ガスを減少させるうえで重要な役割を果たすでしょう。燃料電池を使用した電気自動車やトラックの普及の拡大や電車などの道路以外での普及に関連するニュースが大幅に増加しています。これは、燃料電池を使用した電気自動車が道路での排気ゼロを達成するマルチドライバーソリューションの一部となる可能性が高まっていることを示唆しています。

PRESS RELEASE

ロンドン、2019年9月6日

第2四半期の宝飾品需要は、中国の需要が引き続き減少したため、前年比でさらに3万oz減少しました。2019年第2四半期の工業需要は、2018年第2四半期に比べると若干増加しました。化学触媒およびガラス製造におけるプラチナ需要の成長が、その他の工業需要セグメントの需要の減少によって相殺されました。

WPICの最高経営責任者（CEO）Paul Wilsonは、以下のようにコメントしています：「本日発表したレポートは、投資家がプラチナの需要と価格上昇の可能性を認識したことによる投資需要の伸びが続いたことを示しています。これは、今年、資本市場の不確実性により、大半の貴金属ETFに資金が流入し、その中でもプラチナが傑出しています。年初から機関投資家の投資需要は過去最高で、2019年上期は72万ozのETFを購入しました。

欧州の自動車メーカーは、CO₂排気量の少ないディーゼル車が欧州フリートCO₂排気基準を満たすうえで重要な役割を果たすことを引き続き強調しています。ガソリンの自動車触媒においてパラジウムをプラチナで代替する可能性もあり、これは今後プラチナの需要を押し上げる可能性があります。

中国と北米という主要ターゲット市場の2つで、製品開発のパートナーシップを発展させています。米国ではA-Mark Precious MetalsおよびSunshine Minting Inc.の2社との提携が進展しているほか、中国では中国銀行との提携により、中国農業銀行も私たちの知見を活用して、プラチナ投資商品の販売促進を行うようになりました。新しいパートナー企業のShenzhen Jin Zheng LongおよびDalian Qian Hai Jinの2社は、中国で個人投資家用プラチナバーを製造しています。このようなパートナーシップにより、同地域および世界の投資家にとってプラチナ投資の選択オプションと利用可能性がさらに拡大することになります。」

「Platinum Quarterly」最新版のダウンロードおよび／または今後調査結果を無料でお受取りになるための登録については、WPICのウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

-以上-

PRESS RELEASE

ロンドン、2019年9月6日

2019年度第2四半期予想

	2016	2017	2018	2019年度予想	2018年度/2017年度成長率 (%)	2019年度予想/2018年度成長率 (%)	2018年度第2四半期	19年度第1四半期	19年度第2四半期	
プラチナ需給バランス (トン)										
供給量										
製錬高	188	191	190	200	0%	5%	50	47	50	
南アフリカ	132	136	139	145	2%	4%	36	33	36	
ジンバブエ	15	15	14	15	-3%	1%	4	3	4	
北米	12	11	11	12	-3%	11%	3	3	3	
ロシア	22	22	21	23	-8%	9%	6	6	6	
その他	6	6	5	6	-6%	9%	1	1	1	
生産者製品在庫における増減 (+/-)	+1	+1	+0	-1	-67%	N/M	+2	+0	+0	
鉱山からの総供給量	189	191	191	199	0%	5%	51	47	50	
リサイクル										
自動車触媒	57	59	60	62	2%	3%	15	15	15	
宝飾	38	41	44	47	7%	5%	11	11	11	
工業	19	17	16	15	-9%	-5%	4	4	4	
工業	0	0	0	0	0%	0%	0	0	0	
総供給量	246	250	251	261	0%	4%	66	62	66	
需要										
自動車	107	104	97	94	-6%	-4%	25	24	24	
自動車触媒	103	99	93	89	-7%	-4%	24	23	23	
ノンロード	4	4	5	5	4%	3%	1	1	1	
宝飾	78	77	72	69	-5%	-5%	18	17	17	
工業	56	52	60	59	14%	-1%	15	15	15	
化学	18	17	18	19	2%	10%	4	5	5	
石油	7	3	7	7	140%	-2%	2	2	2	
電気	6	7	6	7	-2%	2%	2	2	2	
ガラス	6	6	8	7	36%	-12%	2	2	2	
医療	7	7	7	7	2%	0%	2	2	2	
その他	12	12	13	12	6%	-8%	3	3	3	
投資	17	9	0	28	-95%	N/M	-2	24	3	
地金、コインの増減	14	7	9		30%		2	2	2	
ETF保有高の増減	0	3	-8		N/M		-4	21	1	
取引所在庫の増減	3	-1	-1		-56%		0	0	0	
総需要量	258	241	230	250	-5%	9%	57	81	59	
残余量	-12	9	21	11	125%	-49%	10	-18	7	
地上在庫	129*	63	72	93	104	29%	12%			

メディア関連のお問い合わせ先 : Kekst CNC

Simren Priestley

+44 203 7551 670

wpic@kekstcnc.com

PRESS RELEASE

ロンドン、2019年9月6日

編集者への注記：

Platinum Quarterlyについて

Platinum Quarterly は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される史上初のレポートです。*Platinum Quarterly* は World Platinum Investment Council の出版物です。これは主に、白金族金属市場において権威のある独立機関の SFA Oxford (SFA) に依頼し、実施された調査および詳細な分析に基づいています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) (WPIC) は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPICの使命は、行動可能な見識と目標を定めた製品開発を通して、プラチナに対する世界的な投資需要を喚起することにあります。WPICは、南アフリカの主要プラチナ生産者により2014年に創設されました。WPICの加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Lonmin (ロンミン)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sibanye-Stillwater (シバニエ・スティルウォーター) です。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。www.platinuminvestment.com

WPIC事務局住所：64 St James's Street, London, SW1A 1NF

SFA (Oxford) について

SFA (Oxford) は2001年に設立され、白金族金属市場において最も重要な権威のある独立機関の1つであるとみなされています。本機関の徹底的な市場調査と完全性は、鉱山から、市場、リサイクルに至るコンサルティング業務、並びに他に類を見ない世界的な業界ネットワークにより裏付けられています。

SFAは、広範かつ多岐にわたる業界知識を有し、それぞれがバリュー・チェーンの主要分野を専門領域としている専属のPGMアナリスト9名、および世界各地を拠点とする多くの提携スタッフで構成されています。SFAは、お客様に対して、業界の未来に影響する最も困難な質問に対して回答を提供することが可能です。

データまたは論評のいかなる部分も、著者による書面での許可なしに、資本市場（資金調達）へ

PRESS RELEASE

ロンドン、2019年9月6日

アクセスする特定の目的のために使用することはできません。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください：<http://www.sfa-oxford.com>

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の1つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの2つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去5年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の72%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の4大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去5年間のプラチナ需要は、総需要量の41%から43%の間を推移しています。他工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の22%となっています（過去5年間の平均）。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の33%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去5年間で最も変化が大きく、総需要の0%から6%を占めています（地上在庫の増減を除く）。

免責事項

World Platinum Investment CouncilおよびSFA（Oxford）のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイトをご覧ください。www.platinuminvestment.com